キャリア創造学科 カリキュラムマップ

キャリア創造学科ディプロマポリシー	①【専門的な力】:幅広い教養に裏打ちされた専門的な知識と技能 ②【社会での実践力】:論理的思考からひろがる課題解決力 ③【コミュニケーションの能力】:協働の場に活かされる他者との関連性の構築 ④【ホスピタリティの精神】:他者を尊重、理解し、奉仕の精神を持つ

	科目名	単位	科目の達成目標(一部省略。詳細はシラバス参照のこと)	科目の教育目標 ◎:関連が深い ○:関連している △:関連はある			
				①	②	③	④
教養科目	国語表現法	1	1. 日本語の知識を身につけ、使いこなせるようになる 2. 自分の考えを、他人に筋道立てて説明できる 3. 正しい敬語が使える	△	○	◎	○
	ベーシック・イングリッシュ	1	1. WhatやWhenなどを使った英語の質問が理解できる 2. 様々なトピックの質問に、3文程度の英語で答えられる 3. 自分の頭の中にある日本語を、英語の語順に直せる	△	○	◎	○
	スタンダード・イングリッシュ	1	1. 様々なトピックの質問に、“答え”、“理由”、“例／詳細”の3セットで答えられる 2. 準備していない英語の質問に対し、即興で答えられる 3. 自分の頭の中にある日本語を、英語の語順に直せる	△	○	◎	○
	法学	2	1. 身近な社会問題における「法」の役割に気づくとともに、それらの問題に対し、自ら考える力を養う		△	△	○
	コンピュータと情報	2	1. 学生はコンピュータの基本知識を理解できる 2. 学生はインターネットの基本知識を理解できる 3. 学生は情報リテラシー(モラル・セキュリティ等)を理解できる	○	○	△	
	フィットネスⅠ	1	1. 身体のしくみを知り、自分自身の身体を調整する方法を実践する 2. 身体の使い方を知り、効率よく機能的に身体を動かす方法を知る 3. 自分の身体の状態を知り、心地の良い身体作りを実践する		△	○	△
	フィットネスⅡ	1	1. スポーツを楽しむための、道具の準備、身体の準備を理解し実践する 2. 手軽にできる個人種目である卓球とバドミントンのルール、プレーの特徴、技術を実習を通じて身につける 3. 様々なスポーツの特徴を理解し、基本の動作を習得し、対戦を楽しむ		△	○	△
	生命科学と倫理	2	1. 生命科学にまつわる歴史や現状について必要な知識を習得する 2. 生命科学にまつわる倫理的な課題について，自分なりの考えや意見をもつ 3. いのちについての自分なりの考えや意見をもち、述べることができる	○	○	○	◎
	心理学	2	1. 心理学の基本を身につける 2. 多面的な思考ができるようになる 3. 受容性・共感性を理解する 4. 表現力を豊かにする	△	△	◎	○
	現代社会と生活	2	1. 現代社会において提供されているリソースを調べることができる 2. 習得した情報や知識を活用して簡単な企画を立てることが出来る 3. 立案した企画を他者に短い時間で要点を説明することが出来る	○	◎	○	◎
	食と健康	2	1. 栄養素の働きについて理解する 2. 若い世代にみられる問題点の解決策を学ぶ 3. 「食」を自ら「選ぶ力」を身につける	◎	△	△	
	情報リテラシー演習Ⅰ	1	1. 学生はコンピュータの基本操作と学内LANの活用方法を理解できる 2. 学生はワープロソフト(Microsoft Word)の基本操作が習得できる 3. 学生は表計算ソフト(Microsoft Excel)、プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の基本操作が習得できる	○	○	△	
	情報リテラシー演習Ⅱ	1	1. Microsoft Excelの基本操作を習得する 2. Microsoft Excelを利用した効率的な計算処理方法を理解・習得する 3. Microsoft Excelの様々な機能(グラフ・データベース・データ活用など)を理解・習得する	○	○	△	
	情報リテラシー演習Ⅲ	1	1. Power Pointの基本操作を習得する 2. Power Pointをツールとしてプレゼンテーションができる 3. 情報社会における正しい判断を身につける	○	◎	○	
	ホスピタリティーコミュニケーションⅠ	1	1. 礼儀を身につける 2. ホスピタリティ(思いやりの心)を持てるようになる 3. 他者尊重、利他の精神を身につける	○	◎	◎	◎
	ホスピタリティーコミュニケーションⅡ	1	1. 礼儀を身につける 2. ホスピタリティ(思いやりの心)を持てるようになる 3. 他者尊重、利他の精神を身につける	○	◎	◎	◎
	ワークエシックス	2	1. 労働倫理、職業倫理の重要性を理解し、社会人としての基本的ルールを身につける。 2. 倫理とリスクマネジメントについて学び、社会人として信頼されるための行動規範を理解できるようになる。 3. 就職活動の武器になるスキルや情報を踏まえ、論理的思考能力を高める。	◎	◎	◎	◎
	ワークエコノミクス	2	1. 日経新聞や一般紙の経済記事に興味を示し、その内容を理解できる能力を身につける。 2. 民間企業の筆記試験や面接試験における経済分野の対応ができるレベルの知識と経済問題に対する思考能力を身につける。 3. ビジネスモデル、マーケティング、経営戦略、会計という経営感覚全般を身につける。 4. 課題発見能力や論理的思考能力の向上を通じ、自らの考えを整理し、わかり易く他者に伝えるスキルを身につける。プレゼン力、ディベート力を磨く。	◎	◎	◎	◎
	キャリア創造概論A	2	1. 産学連携キャリア創造コースで予定している卒業研究発表会の実施(計画・運営・事後挨拶)を成功裏(企業人からの評価)に完了させる。 2. 仕事を任されたときに生きるノウハウを獲得する 3. チームで目標を達成する意味を知る	○	◎	◎	◎
	ビジネスコミュニケーション	2	1. 短大2年間の学習を言語化、音声化、画像化し学外に発信し反応を確認する 1. 社会で求められる考え方が身についている 2. 社会で求められるコミュニケーションができる 3. 必要なマナーを身につけている	○	◎	◎	◎

キャリア創造学科ディプロマポリシー	①【専門的な力】:幅広い教養に裏打ちされた専門的な知識と技能 ②【社会での実践力】:論理的思考からひろがる課題解決力 ③【コミュニケーションの能力】:協働の場に活かされる他者との関連性の構築 ④【ホスピタリティの精神】:他者を尊重、理解し、奉仕の精神を持つ

	科目名	単位	科目の達成目標(一部省略。詳細はシラバス参照のこと)	科目の教育目標 ◎:関連が深い ○:関連している △:関連はある			
				①	②	③	④
キャリア共通	夕陽学	2	1. 大阪夕陽丘学園短期大学の建学の精神に込められた想いを理解する 2. SDG,s、社会に出るときに大切な情報を理解する 3. 本学学生に必要とされる「専門的な力」「社会での実践力」「コミュニケーションの能力」「ホスピタリティの精神」の基礎を身につけることができる	△	○	◎	◎
	キャリアデザイン概論	2	1. 自分の考えをしっかり持ち、意見発表ができ、議論ができる 2. 何事も後回しにせず、自発的に取り組める自立心を身に付ける 3. キャリアデザインの基本となる「考え方」を修得する	△	◎	◎	○
	キャリアデザイン特論(キャリア製菓)	2	1. 各コースで必要な知識の理解を深める 2. 各コースで必要な高いレベルの技術を各個人が身につける 3. 各コースで学んだ知識や技術の集大成としての課題(作品)を仕上げ 4. 製菓衛生師試験に合格する	◎	◎	◎	◎
	キャリアデザイン特論(キャリアファッション)	2	1. ファッションデザインコースで必要な知識の理解を深める。 2. ファッションデザインコースで必要な高いレベルの技術を各個人が身につける。 3. ファッションデザインコースで学んだ知識や技術の集大成としての課題(作品)を仕上げる。	◎	◎	◎	◎
	キャリアデザイン特論(キャリアブライダル)	2	1. ブライダル業界に必要な知識の理解を深める 2. ブライダルに関する技術を各個人が身につける 3. 学びの集大成としての課題を仕上げる	◎	◎	◎	◎
	キャリアデザイン特論(キャリアビューティー)	2	1. 必要な専門文献や論文を検索することができる。 2. 研究成果を論文にまとめることができる。 3. まとめた論文を他者に論理的に伝えることができる。	◎	◎	◎	◎
	キャリアデザイン特論(キャリア産学連携)	2	1. 振り返りをすることで、自分の強み、課題の再確認ができ、自分の成果を確認できる 2. シミュレーションする力および準備力を養うことができる 3. お世話人なった方々へ感謝の気持ちを伝え、社会に出る準備ができる 4. 2年間の学びが自分のキャリアの礎になっていることを確認できる	◎	◎	◎	◎
	キャリアプランニング	1	1. 他者を知る。(何を目的にして、どうやって動いたのか、それがどう繋がっていったのか) 2. 他者の物語から自分を見つめる。 3. 自分にできることとは何かを見出す	△	◎	◎	○
	プロジェクト演習ⅠA(キャリア製菓)	0.5	1. グループワークをする事により各自、お互いを認め合う 2. グループでの役割、各自の責任を認識し、協調性を身に付けていく	◎	◎		
	プロジェクト演習ⅠA(キャリアファッション)	0.5	1. 集団で活動する能力を身につけ、お互いを認め合い豊かな人間性を養う。 2. コミュニケーション能力を高める。 3. 問題解決能力を養う。	○	◎	◎	○
	プロジェクト演習ⅠA(キャリアブライダル)	0.5	1. コミュニケーションマナー能力を高めることができる 2. グループで活動する楽しさや達成感を感じ豊かな人間性を身につける 3. 卒業後に向け分析力、表現力、パフォーマンス力を身につける	○	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅠA(キャリアビューティー)	0.5	1. 社会的な課題に対して、実現可能な解決策を提案することができる 2. 情報を表やグラフを使ってまとめ、相手にわかりやすく伝えることができる 3. 仲間と必要な情報を共有することができる	◎	○	○	◎
	プロジェクト演習ⅠA(キャリア産学連携)	0.5	1. 自ら目標設定ができるようになり、達成のプロセスを考えることができる 2. チームで協力し、課題発見から解決まで自主的に取り組める力を養う 3. 社会で求められる社会人基礎力が向上する	◎	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅠB(キャリア製菓)	0.5	1. グループワークをする事により各自、お互いを認め合う 2. グループでの役割、各自の責任を認識し、協調性を身に付けていく	◎	◎		
	プロジェクト演習ⅠB(キャリアファッション)	0.5	1. 集団で活動する能力を身につけ、お互いを認め合い豊かな人間性を養う。 2. コミュニケーション能力を高める。 3. 問題解決能力を養う。	○	◎	◎	○
	プロジェクト演習ⅠB(キャリアブライダル)	0.5	1. コミュニケーションマナー能力を高めることができる 2. グループで活動する楽しさや達成感を感じ豊かな人間性を身につける 3. 卒業後に向け分析力、表現力、パフォーマンス力を身につける	○	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅠB(キャリアビューティー)	0.5	1. 社会的な課題に対して、実現可能な解決策を提案することができる 2. 情報を表やグラフを使ってまとめ、相手にわかりやすく伝えることができる 3. 仲間と必要な情報を共有することができる	◎	○	○	◎
	プロジェクト演習ⅠB(キャリア産学連携)	0.5	1. 自ら目標設定ができるようになり、達成のプロセスを考えることができる 2. チームで協力し、課題発見から解決まで自主的に取り組める力を養う 3. 社会で求められる社会人基礎力が向上する	◎	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅡA(キャリア製菓)	0.5	1. 好き嫌いや食べず嫌いを無くす 2. 食べ物の濃度や味を識別できる 3. 食べ物を通して表現力や語彙力など伝える力を身に付ける	◎	◎		
	プロジェクト演習ⅡA(キャリアファッション)	0.5	1. 集団で活動する能力を身につけ、お互いを認め合い、豊かな人間性を養う。 2. コミュニケーション能力を高める。 3. 問題解決能力を養う。	○	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅡA(キャリアブライダル)	0.5	1. コミュニケーションマナー能力を高めることができる 2. グループで活動する楽しさや達成感を感じ豊かな人間性を身につける 3. オープンキャンパスにおける模擬挙式を作り上げる	○	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅡA(キャリアビューティー)	0.5	1. 物事を客観的・多面的に見ることができる。 2. 収集した情報を整理し分析することができる。 3. 自分の意見や考えを伝えることができる。	◎	○	○	◎

キャリア創造学科ディプロマポリシー	①【専門的な力】:幅広い教養に裏打ちされた専門的な知識と技能 ②【社会での実践力】:論理的思考からひろがる課題解決力 ③【コミュニケーションの能力】:協働の場に活かされる他者との関連性の構築 ④【ホスピタリティの精神】:他者を尊重、理解し、奉仕の精神を持つ

	科目名	単位	科目の達成目標(一部省略。詳細はシラバス参照のこと)	科目の教育目標 ◎:関連が深い ○:関連している △:関連はある			
				①	②	③	④
キャリア共通	プロジェクト演習ⅡA(キャリア産学連携)	0.5	1. 情報収集力、分析力、発信力を養い、企業活動について知識を得る 2. 企業研究・業界研究が自分の働く上での価値観に繋がることが理解できる 3. グループ作業から社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を高める	◎	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅡB(キャリア製菓)	0.5	1. 他者と協力し作品を完成させる 2. 計画にそって行動し作品を完成させる 3. 完成させた作品をプレゼンテーションする	◎	◎		
	プロジェクト演習ⅡB(キャリアファッション)	0.5	1. 集団で活動する能力を身につけ、お互いを認め合い、豊かな人間性を養う。 2. コミュニケーション能力を高める。 3. 問題解決能力を養う。	○	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅡB(キャリアブライダル)	0.5	1. コミュニケーションマナー能力を高めることができる 2. グループで活動する楽しさや達成感を感じ豊かな人間性を身につける 3. 卒業後に向け分析力、表現力、パフォーマンス力を身につける	○	◎	◎	◎
	プロジェクト演習ⅡB(キャリアビューティー)	0.5	1. 物事を客観的・多面的に見ることができる。 2. 収集した情報を整理し分析することができる。 3. 自分の意見や考えを伝えることができる。	◎	○	○	◎
	プロジェクト演習ⅡB(キャリア産学連携)	0.5	1. 自ら目標設定ができるようになり、達成のプロセスを考えることができる 2. チームで協力し、課題発見から解決まで自主的に取り組める力を養う 3. 社会で求められる社会人基礎力が向上する	◎	◎	◎	◎
	色彩学	2	1. 色の分類とそのあらわし方、色の見え方とイメージ、色の配色とそのバランス、色彩計画など基礎的な知識を身につけて、生活の中に生かすことが出来る 2. 調和のある配色を実践するために必要な知識を習得する	○	○	○	△
	色彩学演習	1	1. 配色の基礎的な知識を身につけて、ファッションの配色、インテリアの配色、テーブルコーディネートなどに活かす 2. 様々な配色技法を学習し、カラーカードで実際に配色を行い、実践的に応用できる 3. パーソナルカラーについて理解する 4. 文部科学省後援色彩検定(3級、2級)に合格できる能力を取得することを目指す	◎	◎	○	△
	販売論	2	1. モノやサービスが売れる仕組みを理解する 2. 売る力を身につける 3. ビジネスに必要な店舗の運営・管理能力を身につける	◎	◎	△	△
	マーケティング論	2	1. 良い商品と売れる商品の違いについて理解できる 2. ビジネスに興味を持つことができる 3. 世の中に求められる新しい商品や新しいサービスを考え出すことができる	◎	◎	△	△
	基礎デザイン論	2	1. 学生はデザイン的なものの考え方を理解できる 2. 学生は近代デザインの成り立ちを理解できる 3. 学生はデザインの今日的課題を把握できる	◎	○	○	△
	キャリア基礎演習Ⅰ	1	1. 整数、小数 、分数の計算が正確にできる 2. 文字式の計算ができる 3. 一次方程式やいろいろな方程式が解ける 4 「比例」「反比例」がわかる	◎	○	△	
	キャリア基礎演習Ⅱ	1	1. 「国語Ⅰ」レベルの漢字を読むことができる 2. 中学国語終了レベルの漢字を書くことができる 3. 語彙力をつける 4. 長文を読みながら、内容を読み取りまとめることができる	◎	○	○	
	ビジネス実務概論	2	1. ビジネスの仕組みについて考えを深める 2. ビジネスワーカーとして求められる能力を理解する 3. ビジネスの流れを大きく理解する 4. 基本的な仕事の進め方を理解する	◎	◎	◎	○
	ビジネス実務演習Ⅰ	1	1. 自分と他者を知ることから人との繋がりを考えることができる。 2. 企業事例をもとに現場の創意工夫を知る。 3. 想像から創造(アイデアから企画へ)することができる。	◎	◎	◎	○
	ビジネス実務演習Ⅱ	1	1. 他者を知る、世の中を知る。 2. 個でできることと他者との連携からできることを体験する。 3. 他者の不(不安・不満・不便など)に対して提案ができる。(対応策提案)	◎	◎	◎	○
	CG実習	1	1. 学生はコンピュータグラフィックスの基本知識を理解できる 2. 学生はコンピュータグラフィックスソフト(Photoshop・ラベルマイティなど)の基本操作方法が習得できる 3. 学生はコンピュータグラフィックスソフトを用いた作品を制作できる	◎	○	△	
	プレゼンテーション演習	1	1. プレゼンテーションへの苦手意識をなくす 2. 準備が成果に影響することを知る 3. 自分の考えを整理し、人前で論理的に述べることができる 4. パワーポイントを用いてプレゼンテーションができる	○	◎	○	△
	情報文化論	2	1. 学生は情報メディアの成り立ちと発展過程を理解できる 2. 学生は情報技術の発達によるメディアの諸問題を理解できる 3. 学生は情報文化社会の概要が理解できる	○	○	△	
	WEBデザイン演習	1	1. 学生はWEBページの基本知識を理解できる 2. 学生はWEBページ作成ソフト(ホームページビルダーなど)の基本操作方法が習得できる 3. 学生はWEBページ作成ソフトを用いた作品(WEBページ)を制作できる	◎	○	○	△
	ビューティー基礎実習	1	1. メイクアップに興味を持つことができる 2. 自分に自信を持つことができる 3. 人の良い所を見つけることができる	○	○	○	△

キャリア創造学科ディプロマポリシー	①【専門的な力】:幅広い教養に裏打ちされた専門的な知識と技能 ②【社会での実践力】:論理的思考からひろがる課題解決力 ③【コミュニケーションの能力】:協働の場に活かされる他者との関連性の構築 ④【ホスピタリティの精神】:他者を尊重、理解し、奉仕の精神を持つ

	科目名	単位	科目の達成目標(一部省略。詳細はシラバス参照のこと)	科目の教育目標 ◎:関連が深い ○:関連している △:関連はある			
				①	②	③	④
キャリア共通	ファッションコーディネート演習	1	1. 基本的なファッションアイテムの知識が身につく 2. ターゲットの分析とスタイリングマップの表現ができる 3. ファッションアイテムを駆使し、トータルなコーディネート提案の仕方が身につく	◎	◎	△	△
	ウォーキング実習	1	1. 正しい姿勢と歩き方に関する知識を身につける 2. 姿勢と歩き方を改善する 3. 自分の魅力を発見!さらに素敵な私になる 4. ファッションショーにおいて表現する	△	○	○	○
	パーソナルカラー実習	1	1. パーソナルカラーの歴史を学ぶ 2. パーソナルカラー(4シーズナルカラーシステム)を分析が出来る 3. 日本人の髪・目・肌の特徴を分析し、似合う色の診断が出来る 4. 似合う色を理解し、マップを作成することで応用力をつける	◎	○	◎	○
	リラクゼーション論	2	1. 自然にリラックスできるようになる 2. 多面的な思考ができるようになる 3. 他者への受容性・共感性を理解する 4. 自己への受容性・共感性を理解する 5. 表現力を豊かにする	◎	△	◎	○
	ホスピタリティー論	2	1. ホスピタリティの意味を理解する 2. ホスピタリティとサービスの違いを理解する 3. ホスピタリティの重要性を理解する	○	◎	◎	◎
製菓	衛生法規	2	1. 食に関連する法規の概要を学び、法の役割と必要性を理解できるようになります。 2. 法規を知ることにより行政が行う施策が理解できるようになり、行政機関が身近なものとなります。 3. 製菓製パンの現場における法の取組みを知ることで、危害を予測し事故を未然に防ぐ知識が養われます。	◎	○		
	公衆衛生学	4	1. 公衆衛生の概念と意義、および基本的統計を理解し説明できる。 2. 生活習慣病とその予防について説明できる 3. 疫学の意義、特に感染症に関するリスクについて説明できる	◎	○		
	食品学	4	1. 栄養成分とその働きについて理解する 2. 食品群の栄養的特徴、調理特性について理解する 3. 食品加工方法と加工食品について理解する 4. 食品表示について理解する	◎	◎		
	食品衛生学Ⅰ	4	1. 食品の安全・安心に関わる項目について理解できる 2. 食品からヒトに及ぼす事柄の項目と内容が理解できる 3. 日本における食の位置付けの認識と内容の理解ができる	◎	◎		
	食品衛生学Ⅱ	2	1. 食品の安全・安心に関わる項目について理解できる 2. 食品からヒトに及ぼす事柄の項目と内容が理解できる 3. 日本における食の位置付けの認識と内容の理解ができる	◎	◎		
	食品衛生学実習	1	1. 食品に及ぼす環境について理解できる 2. ヒトが食品に及ぼす影響について理解できる 3. 微生物の動態について理解できる	◎	◎		
	栄養学	4	1. 栄養素の性質・消化・吸収を理解できる 2. 食品成分の体内での働きを理解できる 3. 栄養と健康の関連性を理解できる	◎	◎		
	社会	2	1. 菓子と食生活の関わりを理解し、説明できる。 2. 菓子店経営について理解し、説明できる。 3. 菓子店経営をシミュレーションし、店舗の企画・設計ができる。	◎	◎	○	○
	製菓理論Ⅰ(洋)	2	1. 洋菓子の原材料の特性を理解し、説明できる。 2. 洋菓子の各種製法を理解し、説明できる。 3. 製菓衛生師試験の当該科目に6割以上正解することができる。	◎	◎	◎	◎
	製菓理論Ⅱ(洋)	2	1. 洋菓子の原材料の特性を理解し、説明できる。 2. 洋菓子の各種製法を理解し、説明できる。 3. 製菓衛生師試験の当該科目に6割以上正解することができる。	◎	◎	◎	◎
	製菓理論Ⅳ(製パン)	2	1. パンの原材料の特性を理解し、説明できる。 2. パンの各種製法を理解し、説明できる。 3. 製菓衛生師試験の当該科目に6割以上正解することができる。	◎	◎	◎	◎
	製菓理論Ⅴ(和)	2	1. 和菓子の原材料の特性を理解し、説明できる。 2. 和菓子の各種製法を理解し、説明できる。 3. 3. 製菓衛生師試験の当該科目に6割以上正解することができる。	◎	◎	◎	◎
	製菓基礎実習(洋)	2	1. 製菓理論で、学んだ材料の個々の特性を実習し、食し、官能を高め理解を深める 2. 各材料を理解し、製菓実習 1.2.3.と基礎応用へと進める事により、技術者としてのスキルを高める	◎	◎	◎	◎
	製菓実習Ⅰ(洋)	2	1. ジェノワーズを手立てで出来る 2. 5号の大きさのスポンジをマスケ出来る 3. 絞り袋を使い、基本の絞りが出来る 4. メレンゲ3種(オーディネール、フランス、イタリアン)が出来る。 5. ソース・アングレーズを作る時のア・ラ・ナップの状態がわかる。	◎	◎	◎	◎
	製菓実習Ⅱ(洋)	2	1. シュー生地が出来る 2. パート・フォンセを目的の大きさ、厚さに延ばせる(丸、四角) 3. 底生地となる生地の種類と用途を覚える 4. ロールケーキが巻ける 5. 原価系計算ができる	◎	◎	◎	◎

キャリア創造学科ディプロマポリシー	①【専門的な力】:幅広い教養に裏打ちされた専門的な知識と技能 ②【社会での実践力】:論理的思考からひろがる課題解決力 ③【コミュニケーションの能力】:協働の場に活かされる他者との関連性の構築 ④【ホスピタリティの精神】:他者を尊重、理解し、奉仕の精神を持つ

	科目名	単位	科目の達成目標(一部省略。詳細はシラバス参照のこと)	科目の教育目標 ◎:関連が深い ○:関連している △:関連はある			
				①	②	③	④
製菓	製菓実習Ⅲ(洋)	2	1. チョコレートを使った線描きが出来る 2. メレンゲ3種類がしっかりと出来る 3. オーブンの使い方を覚える 4. 食べ物の好き嫌いを出来るだけ克服する。 5. デザート菓子を学び、盛り付けを学ぶ	◎	◎	◎	◎
	製菓実習Ⅳ(製パン)	2	1. 正確な計量ができ、器具を正しく使用できる。 2. 実習を通して他者とコミュニケーションを取り、円滑に安全な作業ができる。 3. パンの基本製法を理解し、正しく製造できる。	◎	◎	◎	◎
	製菓実習Ⅴ(和)	2	1. 日本の食文化である和菓子1000年にも及ぶ菓子作りの基本を学習する 2. 和菓子には伝統行事や日本の季節感を取り入れたものが多くあり、通過儀礼の知識を身につける 3. 日本の和菓子特有の材料を使う事で和菓子の文化を知る	◎	◎	◎	◎
	製菓実習Ⅵ(洋)	2	1. 各国のクラッシクな菓子を勉強する事で、今流行している菓子との比較し、その違いを知る 2. フランス菓子だけでなく、ドイツ、オーストリア、イタリア等の菓子の歴史を知る 3. 今まで習ったスキルを生かして、段取り良くグループで作業を進める事で、仲間との協調性を学ぶ 4. 製品を最後まで、一つ一つ丁寧に仕上げる 5. プラチョコ(又は、マジパン)を使ってバラ・小動物を作れる。 6. 使う材料、動作、器具などフランス語で書ける。	◎	◎	◎	◎
	製菓実習Ⅶ(洋)	2	1. 各国のクラッシクな菓子を勉強する事で、今流行している菓子との比較し、その違いを知る。 2. パイ生地(折りパイと練りパイ)が仕込め、用途の違いを学ぶ。 3. 今まで習ったスキルを生かして、段取り良くグループで作業を進める事で、仲間との協調性を学ぶ。 4. 製品を最後まで、一つ一つ丁寧に仕上げる。 5. 各個人毎にデコレーションケーキの製作(6号サイズ、タイトルは母の日) 6. 使う材料、動作、器具などをフランス語で書ける	◎	◎	◎	◎
	製菓総合演習	1	1. 1年生で、学習した科目の確認 2. 各自が、自分自身の理解度を見る 3. 国家試験に合格する	◎	◎		
ファッション	ファッションデザイン論	2	1. ファッションデザインの変遷と人々の意識の変化を理解する 2. ファッションデザインに必要な基礎知識や用語を習得する 3. ファッションデザイナーに求められるデザインの在り方について理解する	○	○	△	△
	ファッションドローイング	1	1. ファッションプロポーションを理解できる 2. 顔、ヘアースタイルを描くことができる 3. 様々な服のスタイルを着装できる様になる 4. 色々な画材を使用して着色表現ができる	◎	△	○	△
	ファッションクラフト実習	2	1. ファッション雑貨に関する知識を身につける 2. 雑貨ショップの客層のターゲットやショップのコンセプトを決定し、商品の企画・立案、制作といった一連の流れを理解する 3. 商品を制作するための基本技術を習得する 4. 各自で制作したファッション雑貨をプレゼンテーションする力を養う	○	○	○	△
	ファッションアドバイザー実習	1	1. ファッションビジネスにおけるファッションアドバイザーの役割を理解する 2. ファッション商品の販売実務に必要な商品知識、陳列や演出の技術を身につける 3. ファッション商品の販売における接客の基本的なマナーや知識、行動を身につける	◎	◎	○	△
	ファッションビジネス論	2	1. 時代の変化＆消費の変化を理解する 2. マーケティング分析により時代のNEXTを予測する力を養う 3. ショップという「点」からビジネスという「面」で見る事が出来、将来のビジネス業界で活躍出来るようにする	◎	○	△	
	ファッション企画実習	1	1. 既存のファッションブランドを研究し、各ブランドのターゲット層や商品戦略の違いについて理解する 2. ファッションビジネスにおける商品企画の流れを理解し、現代のニーズを捉えた商品の企画立案方法を身につける 3. 商品の魅力を伝える企画書の作成方法とプレゼンテーション力を身につける	◎	◎	△	△
	ディスプレイ実習	2	1. VMDの基礎知識を学び、その効果を理解できる 2. 自身でディスプレイの基本構成を企画できる 3. 様々な目的・用途に応じた適切な表現手法を行うことができる	◎	◎	△	
	アパレル構成学及び実習Ⅰ	2	1. 人体の形態や運動機能を理解し、衣服と人体の関係を把握する 2. 素材の扱い方を理解する 3. 縫製の基礎的な理論を理解し、技術の習得を目指す	◎	○	△	○
	アパレル構成学実習Ⅱ	2	1. ワンピースやブラウスなどのアイテムを制作するためのパターンメーキングおよび縫製の基礎的技術を習得する 2. 実物製作のための、デザイン展開や縫製の応用力を身につける 3. 制作アイテムをトータルファッションとしてコーディネートする能力を習得する	◎	◎	◎	○
	アパレル構成学実習Ⅲ	2	1. 各自が自由にデザインしたものを製作することができる高度な技術力と応用力を習得する 2. 袖付きのアイテムか裏付きのアイテムを制作する 3. 制作アイテムをトータルファッションとしてコーディネートし、発表の企画・実施を行う	◎	◎	◎	○
	テキスタイル学	2	1. 授業全般を通して、科学的に思考する能力を養う 2. 各種繊維の特性を学び、それらの基礎知識を身につける 3. 各種繊維の染色方法を理解する 4. 服飾管理の必要性および合理的な管理方法を身につける 5. 洗剤の働きとその効用についての知識を修得する	◎	○		△
	テキスタイル実習	2	1. 洗剤(合成洗剤と石けん)の特徴および正しい使用方法を身につける 2. 学んだ知識を基に、今後の衣生活に実践・応用できる能力を養う 3. 代表的な染色技法をマスターし、応用できる能力を養う 4. 各種染料と繊維の適合性を理解できる能力を身につける	◎	○	◎	△

キャリア創造学科ディプロマポリシー	①【専門的な力】:幅広い教養に裏打ちされた専門的な知識と技能 ②【社会での実践力】:論理的思考からひろがる課題解決力 ③【コミュニケーションの能力】:協働の場に活かされる他者との関連性の構築 ④【ホスピタリティの精神】:他者を尊重、理解し、奉仕の精神を持つ

	科目名	単位	科目の達成目標(一部省略。詳細はシラバス参照のこと)	科目の教育目標 ◎:関連が深い ○:関連している △:関連はある			
				①	②	③	④
ビューティー	美容概論	2	1. メイクと化粧品の正しい知識を身につける 2. 目的にあった化粧品を選択することができる 3. 社会人としてのマナーと考え方を身につける	◎	△	◎	◎
	健康栄養論	2	1. 栄養素の基本を理解する 2. 身体の外観を整える 3. 新しい健康の情報を取り入れ、活用することができる	◎	○	○	
	ビューティービジネス論	2	1. ビューティ市場に大きな影響を与えた人物・企業について理解することができる 2. 美容に関するビジネスに興味を持つことができる 3. 化粧品メーカーのブランド別戦略について理解することができる	◎	◎	◎	○
	香粧品科学	2	1. ヘアケア化粧品の正しい知識を身につける 2. スキンケア化粧品の正しい知識を身につける 3. メイクアップ化粧品の正しい知識を身につける	◎	○	△	
	メイク実習Ⅰ	1	1. スキンケアとメイクの基本技術の習得出来る 2. 自分の長所をいかしたメイク技術を習得出来る 3. 3つ以上のTPOに合わせた魅力ある顔の表現方法を習得出来る	◎	○	△	
	メイク実習Ⅱ	1	1. 他者に対しての化粧技術の習得に関する基本的知識 2. 技術(他者を魅力的に見せるメイク)と可能なサポートを実行できる 3. TPOに応じたマナー(気遣い、メイク環境の設定・立ち方・肌へのタッチ・表現)を身につける	◎	◎	◎	○
	ネイル実習Ⅰ	1	1. JNECネイリスト技能検定試験3級取得 2. ネイル基礎知識修得 3. ネイルベーシック(ネイルケア＆カラーリング＆ネイルアート)技術習得	◎	○	○	
	ネイル実習Ⅱ	1	1. JNECネイリスト技能検定試験2級取得 2. チップラップの造形テクニック,サロンワークに通用するケアーカラーの習得 3. 季節、パターンに応じたネイルアートの技術習得	◎	◎	○	△
	ネイル実習Ⅲ	1	1. JNAジェル技能検定試験初級取得 2. ジェルネイルの基礎知識、技術習得 3. それぞれのT. P. Oにあったネイルとファッション、生活のネイルコーディネイト術	◎	○	○	△
	メイクセラピー実習	1	1. コミュニケーションスキルを身につける 2. オーダー(なりたい印象)に伴ったメイクアップを施すことが出来るようになる 3. 自分自身の印象管理に役立てることが出来るようになる 4. メイクセラピー検定2級取得できる知識と技術を身につけることが出来る	◎	◎	◎	○
	化粧文化論	1	1. 日本の美容文化について理解することができる 2. 西洋の美容文化について理解することができる 3. 美容業界の先人たちに興味を持つことができる	◎	○	○	△
	アロマセラピー実習	1	1. 香り(植物の芳香成分)の特徴や効能、また香りが脳に届くメカニズムを理解することで、香りで心や身体を癒し、健康に導くことができることを学ぶ 2. ビューティー＆ヘルスケアの知識を深め、日常生活で自分や周りの人にアロマテラピーを活用できるようになる 3. ハンドトリートメントの手技を身につけて、自分や家族、友人にハンドトリートメントをして癒しを提供できるようになる 4. (公社)日本アロマ環境協会主催アロマ検定1級を受験する知識を身に付けることができる	◎	○	○	△
	ヘアースタイリング実習	1	1. ヘアスタイルに興味を持つことができる 2. 自分に合ったヘアスタイリングができる 3. 髪質・ヘアデザインに合ったヘアスタイリング剤を選定することができる	◎		○	△
ブライダル	ブライダル概論	2	1. ブライダル業界を理解する 2. 日本におけるブライダルの歴史、市場を理解する 3. ブライダル関連の基本的知識を理解する 4. 将来の資格取得を目指す(ブライダルコーディネート技能検定)	◎	○	○	△
	ブライダルプランニング実習	1	1. ブライダル業界に必要なヒューマンスキルを身に付ける 2. ブライダル関連施設を理解する 3. ブライダルコーディネーター業務を理解する	◎	◎	◎	○
	ブライダルデザイン実習	1	1. 学生はウェディング企画ができる 2. 学生は企画に基づくデザイン表現(ペーパーアイテム)ができる 3. 学生はプレゼンテーションによる表現ができる	◎	◎	△	△
	ブライダルスタイリング実習	1	1. ブライダルコスチュームの正しいコーディネートを理解する 2. ブライダル形式に合ったドレスをデザインすることができる 3. ブライダルのトレンドをリサーチし、ブライダル小物を制作する技術を習得し、プレゼンテーションする。	◎	◎	◎	◎
	ブライダルプロデュース実習	1	1. ブライダル基礎知識を基に、創造力を身に付ける 2. ブライダルの企画力・推進力を身に付ける 3. お客様(新郎新婦)との打合せにおける接客マナーを身に付ける	◎	◎	◎	◎
	ホスピタリティービジネス論	2	1. 顧客視点でホスピタリティーを実践できる人材の育成 2. ホスピタリティマインドで組織運営ができる人材の育成	◎	◎	○	◎
	ブライダルマーケティング論	2	1. ブライダル市場の現状やトレンドを知る 2. 実務に関連する商品開発や広告宣伝などを学ぶ 3. 問題点や課題を捉え、改善策を考察する	◎	◎	△	○
	ブライダルサービス実習	1	1. 基本的な知識を身につけている 2. 基本的な技術を身につけている 3. 現場で即戦力となる人材になれている	◎	◎	◎	◎

キャリア創造学科ディプロマポリシー	①【専門的な力】:幅広い教養に裏打ちされた専門的な知識と技能 ②【社会での実践力】:論理的思考からひろがる課題解決力 ③【コミュニケーションの能力】:協働の場に活かされる他者との関連性の構築 ④【ホスピタリティの精神】:他者を尊重、理解し、奉仕の精神を持つ

	科目名	単位	科目の達成目標(一部省略。詳細はシラバス参照のこと)	科目の教育目標 ◎:関連が深い ○:関連している △:関連はある			
				①	②	③	④
ブライダル	テーブルコーディネート実習(フラワーを含む)	1	1. テーブルコーディネートの基本を学び、生活や社会で実践出来るようにする 2. 世界と日本の食文化や食卓芸術の歴史を知る 3. テーマやコンセプトに合ったテーブルコーディネートを提案出来る 4. 食事のマナーを身に付ける 5. 花の取り扱い、アレンジメントの構造を知る。 6. テーブルコーディネートに纏わるビジネスシーンでの基本ルールを知る。	◎	◎	◎	◎
	ブライダルビジネス論	2	1. ブライダル業界内の職種を研究する 2. ブライダル市場の現状を理解し、問題点などを顧客の目線から捉える	◎	◎	△	◎
	ホテルビジネス論	2	1. ホテル業を理解する 2. ホテルの組織を理解する 3. ホテルのサービスを理解する	◎	◎	△	◎
	ドレスフィッティング実習	1	1. 婚礼衣裳の基礎知識を習得し、実践では正しい着せ付けが出来るようになる 2. 生地、インナー、和装、ヘアセット、小物、メンズなどの婚礼衣裳に関する広範な知識を習得する 3. 婚礼衣裳全般について学んだ知識を活かし、コーディネート、フィッティングが出来るようにする	◎	◎	△	○
産学連携	企業研究Ⅰ	3	1. 仕事上の専門的な知識を得る 2. 課題解決の思考と行動を身につける 3. 積極性、責任性を発揮し、チームの協力体制を高める 4. チームで目標を常に確認し、試行錯誤しながらより良い結果を求めることができる	◎	◎	◎	◎
	企業研究Ⅱ	3	1. 現場の仕事について学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組めるマインドをつける	◎	◎	◎	◎
	企業研究Ⅲ	3	1. 現場の仕事について学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 社員の方々の仕事への関わりを観察しながら、PDCAを実践する 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組めるマインドをつける	◎	◎	◎	◎
	企業研究Ⅳ	1	1. 現場の仕事について学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 社員の方々の仕事への関わりを観察しながら、PDCAを実践する 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組めるマインドをつける	◎	◎	◎	◎
	企業研究Ⅴ	4	1. 現場の仕事について広く深く学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 組織への貢献を考え、PDCAを実践し自分で考え行動できる 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組み、より良い結果を求めることができる	◎	◎	◎	◎
	企業研究Ⅵ	4	1. 現場の仕事について広く深く学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 組織への貢献を考え、PDCAを実践し自分で考え行動できる 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組み、より良い結果を求めることができる	◎	◎	◎	◎
	企業研究Ⅶ	5	1. 現場の仕事について広く深く学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 組織への貢献を考え、PDCAを実践し自分で考え行動できる 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組み、より良い結果を求めることができる	◎	◎	◎	◎
	コーオプ実践特論Ⅰ	2	1. PDCAサイクルで考え行動できる習慣をつける 2. 自分の考えを言語化しプレゼンテーションができる 3. 企業文化・仕事について経験と知識を得る	◎	◎	◎	◎
	コーオプ実践特論Ⅱ	2	1. PDCAサイクルで考え行動できる習慣をつける 2. 自分の考えを言語化しプレゼンテーションができる 3. 企業文化・仕事について経験と知識を得る	◎	◎	◎	◎
	コーオプ実践特論Ⅲ	2	1. PDCAサイクルで考え行動できる習慣をつける 2. 目標達成の行動ができる 3. 組織・仕事について広く、深い経験と知識を得る 4. プロセスの共有から自分のパフォーマンスに活かすことができる	◎	◎	◎	◎
	コーオプ実践特論Ⅳ	2	1. PDCAサイクルで考え行動できる習慣をつける 2. 目標達成の行動ができる 3. 組織・仕事について広く、深い経験と知識を得る 4. プロセスの共有から自分のパフォーマンスに活かすことができる	◎	◎	◎	◎
	コーオプ実践特論Ⅴ	2	1. 現場の仕事について広く深く学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 組織への貢献を考え、PDCAを実践し自分で考え行動できる 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組み、より良い結果を求めることができる	◎	◎	◎	◎
	コーオプ実践特論Ⅵ	2	1. 現場の仕事について広く深く学ぶ 2. 設定した目標達成のための行動を考え、振り返りから課題解決に繋げる 3. 組織への貢献を考え、PDCAを実践し自分で考え行動できる 4. 目標を常に確認し、失敗しても「何のためにするのか？」を考えあきらめずに取組み、より良い結果を求めることができる	◎	◎	◎	◎